

労働図書館新着情報

今月の図書紹介

①橋本健二著『アンダークラス2030』毎日新聞出版

(2020年10月刊, 285p, 四六判)

本書は、いわゆる就職氷河期世代に焦点を当て、その誕生から現在までを社会的背景を織り込みながら描いている。著者は、コロナ禍が将来に与える影響を見極める材料はまだそろっていないとしつつも、今回のコロナ禍を契機に就職氷河期が再来し、永続化する可能性がある」と強調する。就職氷河期世代以降の世代は、①非正規雇用比率が高い②未婚率が高い③少子化傾向が強い——などの共通点が多いと指摘する。2014年から2019年の間に卒業した若者たちは就職状況が着実に改善したが、それもつかの間の幸運だったと考えられている。

著者は、何か根本的な対策を考えない限り、氷河期世代に起こったことは、程度の違いはあっても、今後のすべての世代に起こるだろうと警告する。日本の社会を好ましくない方向へと変質させ、人々は、比較的安定した生活を送り、家族を形成して子どもを産み育てることの可能な相対的多数派と、それが不可能な相対的少数派とに分断され続けるだろう、と分析。新しい下層階級が全ぼうを現す2030年までに手を打つ必要性を訴える。

②濱口桂一郎・海老原嗣生著『働き方改革の世界史』筑摩書房

(2020年9月刊, 250p, 新書判)

本書では、労働問題のエキスパートである著者が労働運動の仕組みについて、どのような経緯でそれができあがったのかを時代と国情などから整理して解説する。例えば、欧州の横断的組合は職人組合(ギルド)をその祖とした影響が大きく、19世紀には英国で「集合取引」(コレクティブ・バーゲニング)という手法によってある程度形作られていたという。米国では集合取引とストライキを用いたジョブ・コントロール型労使関係を構築。これに対して、ドイツでは社内に従業員代表制を作り、労使で協議を行うという仕組みが定着したと強調する。こうしたメカニズムを解き明かすため、古典的な名著を紐解きながら、働き方の意味を考察。世界中で検討され、実行されてきた労働運動の理想と現実を浮き彫りにする。

最後には、日本の古典、藤林敬三著「労使関係と労使協議制」を取り上げ、労使関係の本質は、親和的な「経営対従業員関係」と対立的な「経営対組合関係」の二元的関係にある、との見方を紹介している。

(日本十進分類[NDC]順に掲載)

主な受け入れ図書

(2020年10月-11月労働図書館受け入れ)

- | | |
|---|---|
| ③本田健著『仕事消滅時代の新しい生き方』
プレジデント社 (222頁, 四六判) | ⑧石黒太郎著『失敗しない定年延長』
光文社 (230頁, 新書判) |
| ④ケイト・ホジス著『世界は女性が変えてきた』
東京書籍 (186頁, B5判) | ⑨エマニュエル・トッド著『大分断』
PHP研究所 (195頁, 新書判) |
| ⑤毛受敏浩著『移民が導く日本の未来』
明石書店 (213頁, 四六判) | ⑩松尾孝一著『ホワイトカラー労働組合主義の日英比較』
御茶の水書房 (xiii+270頁, A5判) |
| ⑥キャシー松井著『ゴールドマン・サックス流女性社員の育て方、教えます』
中央公論新社 (187頁, 新書判) | ⑪大平徹著『予測学：未来はどこまで読めるのか』
新潮社 (203頁, A5判) |
| ⑦矢澤めぐみ著『外国人雇用ははじめの一步』
日本法令 (229頁, A5判) | ⑫中石和良著『サーキュラー・エコノミー』
ポプラ社 (180頁, 新書判) |

労働図書館 <https://www.jil.go.jp/lib/index.html>

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書125,842冊、洋書32,810冊、和洋の製本雑誌27,114冊を所蔵している日本有数の労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。このほかにも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(244種)、洋雑誌(139種)、紀要(502種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特に国際労働機関(ILO)総会の議事録や経済協力開発機構(OECD)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して歴史的に貴重な労働組合の原資料を収集、提供しています。

所在地：〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23

開館時間：9:30～17:00

休館日：土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月28日～1月4日)、その他

電話番号：03(5991)5032 / FAX：03(5991)5659

利用資格：どなたでもご自由にご利用できます

貸出：和書・洋書とも2週間、5冊までです

※身分証明書(運転免許証など)をお持ちください

レファレンス・サービス：図書資料の所在調査などのサービスを行っています



※現在、新型コロナウイルス流行の影響で臨時閉館している場合があります。開館情報はHPでご確認下さい。